

六月三日

晴

伊江島

主力行動

連絡所行動

出場人員

泚遣隊

渡久地連絡所

一伊江島飛行場設定作業續行ス

二玉置涯尉業務連絡ノタメ伊江島榎橋^三張

佐藤曹長業務連絡^三ニダシヨイトラ^三掌領

ニ本隊ニ輸送ス殘餘ノ兵ハ加藤少尉ノ指揮

ニ依リ軌條^三ヲ軌條台車ヲ大發三隻ヲ次テ伊

江島^三ニ輸送ス

命令

三受領セル命令左ノ如シ

山十九龍地作命申第十八號

六月三日

曇

伊江島

主力行動

將校^六 准下技^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

兵^六

二 部隊長岡村曹長隨行大宜味、今歸仁、
 國頭、名護ニ於ケル協議会ニ參加シタメ出張ス
 三 伊江村ヨリ徵傭勤勞者三ニ九名受領ス
 四 部隊長一七〇ノ讀谷山(北飛行場)ヨリ飛行機
 ニ依リ作命ヲ受領歸隊、讀谷山冰遣隊ノ
 編成ヲ實施ス
 各村供出物資ノ集積ニ飛行場設定資材
 ヲ伊江島ニ輸送ス

命令

- 六 受領セル命令別紙ノ如シ
十九航地作命申第十九號
- 四十九航地作命申第二十號
- 七 作爲セル命令別紙ノ如シ
ハ五〇飛大作命第五九號、四伊飛設命第二ニ號、
 ハ伊飛設命第三三號、第四號、ハ五〇飛大見命第六三號



陸軍

十九航地作命第十七號

第十九航地作命第十七號
 六月二十三日ハ。
 敵米ハ航空母艦ヲ基幹トスル機動部隊ヲ以
 テサイバン島ニ集中攻撃シ西太平洋ノ洋心ヲシ
 テ俄然熾烈化セシムルト共ニ他ニ大機動部隊
 ヲ後ヲ待機セシメ我が比島台灣南西小笠原諸島
 何レカニ大攻撃ヲ企圖スル重大ナル戦局ヲ呈シアリ
 第三上軍ハ沖縄全島ノ要塞化ヲ目途トシ作戰
 準備ノ急速強化ヲ促進中ナリ
 第十九航地作命第十七號
 各飛行場ニ於ケル防空施
 設ヲ強化シ作戰準備ヲ促進セントス
 各設定隊長ハ保管セル重火器ノ陣地ヲ特設強
 化シ當該兵員ハ陣地ノ附近ニ宿營セシメ又小銃ヲ以
 テスル對空射撃部隊ヲ編組シ置キ對空射撃ニ

陸軍

萬遺憾ナカレムベシ

猶設定作業間ノ對空監視ハ至嚴ナラシムト共ニ警戒
戒警ヲ報アルヤ直ニ對空監視哨ヲ設置スベシ

四、各設定隊長人又飛行場附近ニ勤勞者ノタメノ退避
壕ヲ速カニ構築スベシ

五、伊江島設定隊長人軍無線通信所ノ敵砲爆ニ對
スル掩護工事ヲ特設スベシ

六、各設定隊長ハ城列ハナル砲爆ニ對シ人員兵器資材ノ
無益ナル損害ヲ排除スルタメ飛行場設定ノ勞力ヲ一
時防空施設ノ強化ニ轉用スルモノトス

七、各施設ハ概テ六月末日迄ニ完了セシムルモノトス

下達法 口達後印刷配布

配布先

2A pac
pac
pac
pac
pac
pac

陸軍部十七、五、陸軍部

十九航地作命第十九號

第十九航空地区司令部命令

六月二十四日

一、第二五飛行團司令部（飛行機二機）飛行第三十戰隊

二、式戰斗機二機（飛行第六七戰隊（九九式襲撃機））

ハ六月二十六日以後北飛行場ニ未進ノ豫定

那霸朝分隊ハ一部ノ人員器材ヲ差出し前項戰隊後

方整備並ニ資材ノ補給輸送及集積ニ任ズル等

二、第十九航空地区司令部（依然飛行場ノ急速設定ヲ

促進シ、空中部隊ノ出勤ニ密ニ協力セシトス

三、第五十飛行場大隊ハ補給中隊長ヲ長トセル補給約

中隊及警戒備約（小隊（機関砲二門）ヲ編成シ明三五日

迄ノ迄ニ北飛行場ニ展開完了シ空中部隊未進

ノ爲ノ諸準備ヲ完整セシムベシ

主要機材ノ差出しハ別紙ノ如シ

四、第三飛行場中隊長ハ整備掛符候ヲ長トセル補給約一
 隊及炊言備小隊ノ一部(機關砲一門)ヲ編成シ明三五日
 〇九〇〇迄ニ北飛行場ニ到サシメ第五飛行場大隊補給
 中隊長ノ指揮下ニ入ラシムベシ
 主要携行器材ノ差出人別紙ノ如シ
 五、第五飛行場大隊補給中隊長ハ北飛行場勤務隊
 長ト成リ前項人員ヲ指シ定中隊隊ノ職團整備ニ協
 カスルト共ニ補給、整備、休宿給養ヲ担任スベシ
 炊言備ニ関シテハ豫メ高射砲第三七大隊中隊長ト協
 定シ置クベシ
 六、天野少尉ハ北飛行場ノ既設滑走路及誘導路等ノ
 補修ヲナレ爾後飛行場ノ整備ヲナスモノトス
 七、新名中尉ハ兩戰隊到着時ニ於ケル誘導ニ関シ勤務
 隊長ヲ援助スベシ

附十七、五、夜時

八、高島中尉ハ北飛行場ニ地区司令部職團指揮所ヲ開設シ
 補給施設ニ関シ之ヲ指導運務ニ任スベシ
 九、午菴主計大尉ハ北飛行場ノ休宿給養ヲ指導監督
 スルト共ニ依然下部隊ノ業務ヲ統轄スベシ
 十、中飛行場設定隊長ハ軍醫一衛生下等一ヲ北飛行場
 ニ兼務セシメ明三五日ニ〇〇迄ニ合同救護所ヲ開設セ
 シメ救護並ニ保健ニ任セシムベシ
 十一、細部ニ関シテ外所大尉ヲシテ指示セシム
 十二、予ハ那覇開洋會館ニ在リ隨時北飛行場戰鬥
 指揮所ニ到ル

下達法
 口達後印刷配布
 配布先
 32 A
 300
 300
 500
 北飛行場
 北

別紙

主要兵器差支区分表

名稱	区分	陸軍	海軍	航空隊	合計
始動車					1
補給車					1
簡易始動機	(全)				
簡易補給機	(全)				
標示用具					
築用車					
自動車					
自動車					
給水車					
スパーリ機					
九一式電話機					
同交換器					
					9

陸軍

同被覆線
對空望遠鏡

一六

八

二四

備

一、中飛行場側車一ツ地区司令部三差出スルトス

二、飛行機特種器具整備器具甲乙野外天幕野外

用空電機ハ所要ニ應ジ出スルトス

考

三、前項器具ハ丈夫派遣隊人員ニ携行セシメ北飛行場勤務隊隊長之カ主管ニ任カス

一九航地作命第二〇號

第十九航空地区司令部命令

六月二十四日一四〇〇

一、各設定隊長ハ特況ノ変化ニ基キ未定飛行場ノ

設定作業方針ヲ左ノ如ク変更スベシ

左記

先ツ飛行場機離著陸。不時着ニ支障ナキヲ目

途トシ滑走路五〇×五〇〇米(一三〇〇米)並ニ誘導路整地

轉圧作業並ニ飛行機掩体ヲ急遽ニ完成スルトス

二、伊江島中飛行場ノ副滑走路設定作業ハ時中止

シ東飛行場ノ現行ノ滑走路ヲ第一項ノ如ク急遽

スルト共ニ新滑走路ノ設定ニ看スベシ

三、北飛行場ノ滑走路設定作業ハ時中止ニ未定ノ

誘導路並ニ掩体ヲ急設スベシ

下達後 口達後印刷配布

配布先
32A
30C
30C
4006
5006
北飛場
北飛勤

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

昭和十七、五、陸海軍

極秘

五。飛大作命第五九號

第五十飛行場大隊命令

六月二十四日一七二〇
伊江島兵全口

一大隊八五〇演習日ヲ實施セントス

二補給中隊伊江島飛行場勤務班迄ニ自動

車牛ヲ本島中飛行場自動車牛ノ次及敬言

備ニ分隊ヲ屬スハ明二十五日正午迄ニ讀谷山

飛行場ニ展開シ第三飛行場中隊ヨリ差出ス所

要ノ兵カヲ併セ指揮シ讀谷山派遣隊トナ

リ3FRノ協力ニ任スハシ

三敬言備中隊長ハ自動車牛ヲ明二十五日九〇〇迄ニ

讀谷山ニ差出シ補給中隊長ノ指揮ニ入ラシム
ルト共ニ明ニ十五日一〇三〇迄ニ自動貨車全數ヲ渡久
地棧橋ニ前進セシメ補給中隊長ノ輸送ヲ援助
スベシ

四加藤少尉ハ明ニ十五日一〇〇〇迄ニ伊江島棧橋ニ
船舶工兵中隊大發主力及江島丸並ニ盛
皆丸ヲ到着セシメアルベシ

五予ハ部隊本部ニ在リ

下達法 口達後印刷文件

報告通表

32A 40B 派遣隊

伊江島設司令部
伊江

五、敵言備隊長ハ軍無線通信所ノ敵砲爆ニ對スル掩護
工事ヲ特設スベシ

六、各作業隊長ハ熾烈ナル砲爆ニ對シ人員兵器資材
ノ無益ナル損害ヲ排除スルタメ飛行場設定ノ勞
力一時防空施設ヲ強化ニ轉用スルモノトス

七、各施設ハ概テ六月末日迄ニ完了セシムルモノトス

下達法
報告優先

口達後印刷交付
32A
190B
冰遣隊

林和

伊飛設命第三三號

伊江島飛行場設定隊命令

六月二十四日 一七三〇
伊江島 兵舎

一 第五十飛行場大隊ノ五。演習實施ニ伴ヒ一部飛行場作業隊長及飛行場設定方針ヲ変更セントス

二 中澤少尉ハ爾今東飛行場作業隊長トナリ先ツ現在實施中ノ滑走路 150×50 ノ地均轉圧作業ヲ急速完了シタル後新飛行場 150×50 ノ地均轉圧作業ヲ實施シ且誘導路掩体ノ構築作業ヲ平行實施スベシ